

「年度第 回 工事担任者試験」経歴証明書

【重要】この経歴証明書は、申請者の実務経歴を勤務先の代表者の方から厳格に証明していただく重要な証明書です。作成に当たっては、裏面の注意事項及び「受験の手引き」をよく読んで、申請者自身が自書で記入作成し、署名の上、受付締切日までに提出（郵送可）してください。

| | | |
|------------|---------------|--------|
| 受付番号(記入不要) | ※ | |
| 受験希望地 | | |
| 受験種別 | G・H・J・K・L・M・N | |
| 免除申請科目 | 基礎 | 技術及び理論 |

| 工事従事期間 | | 従事した接続の工事の内容 | | |
|-----------------------|------|--|-------------------------|---|
| 工事期間 | 実働期間 | 端末設備の種類及び工事の内容 | | 監督した工事担任者 |
| 年 月 日 ～ 年 月 日 | 月 日間 | 工事名 端末機器名 機器認定登録機関名 伝送路規模[A:] [I:] [D:入力 Mbps] (64kbit/s換算) [出力 Mbps] | 機器取付件数 認定番号 | 氏名 (印) 資格 資格者証番号 交付年月日 連絡電話番号 |
| 年 月 日 ～ 年 月 日 | 月 日間 | 工事名 端末機器名 機器認定登録機関名 伝送路規模[A:] [I:] [D:入力 Mbps] (64kbit/s換算) [出力 Mbps] | 機器取付件数 認定番号 | 氏名 (印) 資格 資格者証番号 交付年月日 連絡電話番号 |
| 年 月 日 ～ 年 月 日 | 月 日間 | 工事名 端末機器名 機器認定登録機関名 伝送路規模[A:] [I:] [D:入力 Mbps] (64kbit/s換算) [出力 Mbps] | 機器取付件数 認定番号 | 氏名 (印) 資格 資格者証番号 交付年月日 連絡電話番号 |
| 年 月 日 ～ 年 月 日 | 月 日間 | 工事名 端末機器名 機器認定登録機関名 伝送路規模[A:] [I:] [D:入力 Mbps] (64kbit/s換算) [出力 Mbps] | 機器取付件数 認定番号 | 氏名 (印) 資格 資格者証番号 交付年月日 連絡電話番号 |
| 年 月 日 ～ 年 月 日 | 月 日間 | 工事名 端末機器名 機器認定登録機関名 伝送路規模[A:] [I:] [D:入力 Mbps] (64kbit/s換算) [出力 Mbps] | 機器取付件数 認定番号 | 氏名 (印) 資格 資格者証番号 交付年月日 連絡電話番号 |
| 年 月 日 ～ 年 月 日 | 月 日間 | 工事名 端末機器名 機器認定登録機関名 伝送路規模[A:] [I:] [D:入力 Mbps] (64kbit/s換算) [出力 Mbps] | 機器取付件数 認定番号 | 氏名 (印) 資格 資格者証番号 交付年月日 連絡電話番号 |
| 従事期間の合計(頁毎) 年 月 日間 | | 機器取付合計件数(頁毎) 件 | 従事期間の総合計(最終頁) 年 月 日間 | 機器取付総合計件数(最終頁) 件 |

上記のとおり相違ありません。

証明書作成年月日 年 月 日

申請者氏名 (フリガナ) (印)

(自筆で署名したときは、押印を省略できる。)

生年月日

連絡用(勤務先等)

電話番号 () -

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明年月日 年 月 日

会社名

所在地

電話番号 () -

代表役職名

代表者名

代表者印

(記 入 不 要)

(注) 申請者及び証明者の方に、記載内容についてのお問合せ、記載内容の不備の訂正又は、必要な資料等の提出を依頼する場合がありますので、あらかじめご了承ください。このため、経歴証明書の写しをとっておいてください。

| | | |
|-----|------|------|
| 審査者 | 1次審査 | 2次審査 |
| | ※ | ※ |

記入上の注意事項

【重要】

1. この経歴証明書は、電気通信事業法等の規定に基づき、国家試験である工事担任者試験の試験科目の免除を申請するための重要な書類です。
2. このため、申請者の実務経歴について、現に実地監督をした工事の記名・押印による証明とともに、勤務先の代表者がその事実を確認し、代表者の役職名及び氏名を署名し、代表者印の押印により、厳格に証明していただきます。
3. 実務経歴が不足しているにもかかわらず事実と反する記載を行い、試験科目の免除を受け資格者証を取得する行為は、電気通信事業法に違反する行為です。
この場合、同法に基づき総務大臣から、当該者の有する全ての工事担任者資格者証及び電気通信主任技術者資格者証の返納を命ぜられる場合があります。その場合、その後1年間は新たに両資格者証の交付を一切受ける事ができません。
4. 当国家試験センターにおける審査において、実務経歴の記載内容が真実でなく虚偽の記載と判断される場合は、申請者が過去に行った経歴免除申請及び証明者が過去に行った証明の内容についても改めて確認をさせていただく場合があります。
なお、この場合、上記の趣旨から総務省に報告する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

経歴証明書の記入・作成にあたり、詳しくは「受験の手引き」を参照してください。

1. 実務経歴による試験科目の免除を申請する方は、インターネットによる申請はできません。必ず申請書による申請を行ってください。ただし、過去に経歴証明書を提出し、科目免除を認められた方が同じ試験種別の試験を申請する場合は、インターネットによる試験申請を受け付けます。
2. 経歴証明書は、申請者自身が実務経験の内容等を、必ず自筆で記入・作成し、代表者の証明を受けてください。記入・作成に当たっては、黒色ペン又はボールペン(鉛筆、シャープペン、消えるボールペンによる記入、プリンター等の印刷は不可)を用いてください。
3. 経歴証明書は、接続の工事に従事した勤務先の証明を受けてください。
4. 接続工事に従事した勤務先が異なる場合は、それぞれの勤務先ごとに経歴証明書を作成してください。
5. 代表者又は代表者に代わって署名する方は、申請者が実際に接続工事に従事した事実及び該当の工事を実地に監督した工事担任者を確認した上、役職名及び氏名を署名し、代表者印を押印して証明してください。なお、押印は、必ず代表者印(会社印、私印は不可)を押してください。
6. 従事した接続の工事の内容は、免除する試験科目に関する実務経歴が容易に判別できるものとします。
7. 工事従事期間は、次により計算した期間を記入してください。
 - (1)従事した日から起算し、末日は終了しないときでも1日として算入します。
 - (2)月又は年で定める従事期間は、暦に従って計算し、月又は年の始めから起算しないときは、その期間は最後の月又は年における起算日に相当する日の前日をもって満了とします。ただし、最後の月又は年に応当日がないときは、その月の末日をもって満了するものとします。
 - (3)工事従事期間を計算するには、1月に満たない従事日数は、合算して30日になるときは1か月とし、1年に満たない従事月数は、合算して12月になるときは1年とします。
8. 経歴証明書が複数枚にわたる場合、各経歴証明書の記入を必要とする項目についても記入省略(空白又は「同上」などの記入は不可)、記入漏れ、誤記、押印漏れ等のないよう確実に記入してください。
9. 実務経歴(工事従事期間、従事した接続の工事の内容)は、証明日現在で記入してください。予定の工事は実務経歴として認められません。